

【図書名等】 特定化学物質作業主任者の実務－能力向上教育用テキスト－  
 コード No.23422 第 5 版 定価 2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）

表紙の色：藍色→オレンジ色

【発行日】 令和 3 年 7 月 16 日

【改訂のあらまし】

改 訂 の あ ら ま し	該 当 頁
平成 29 年 12 月第 4 版発行後の、最新の法令・知見、技術動向に対応して内容、レイアウトおよびイラストを見直すなどの変更を行った。	
表記統一：イ、ロ、ハ ⇒ ア、イ、ウに統一	
<b>第 1 章 特定化学物質による健康障害予防の基本</b>	
・「1-1 (1) 労働衛生管理の考え方」を追加。第 4 版の「イ 特定化学物質の有害性」は削除。	9-10
・「1-1 (2) 健康影響」を追加し、第 4 版の「ハ 個々の物質による健康障害」「ニ 特定有害性」は削除。	11
・「1-2 がん原性指針」を追加。	13-15
・「1-2 化学物質の危険性または有害性等の調査」⇒1-3 に移動。	15
・「1-3 (3) 危険性または有害性の特定」さしかえ。	17
<b>第 2 章 作業環境管理</b>	
・「2-1 作業環境管理の進め方」特別有機溶剤について加筆。 表 2-1 に溶接ヒュームの記載を追加。	26 27
・「2-2 (3) 作業環境測定の実施とその評価」に個人サンプリング法を追記した原稿にさしかえ。	35-37
・「2-2 (5) 作業環境測定結果報告書のモデル様式と結果報告書の見方」表 2-5 のさしかえ。	39-44
・「2-2 (6) 作業環境測定結果に対する評価に基づく措置」C・D 測定の表記の追加。	46
ウ 管理区分と評価に対する措置 項目追加。	47
「学習の確認」で、第 2、第 3 管理区分評価の記述を追加。	48
・「2-2 (7) 金属アーク溶接作業中に発生する溶接ヒュームの濃度の測定」原稿を新たに追加。	50-53
・「2-3 (1) ウ プッシュプル型換気装置」原稿をさしかえ。	60-63
・「2-3 (3) ア 全体換気装置」溶接ヒュームの場合の換気装置に関する記述と図-27, 28 の 2 点追加。	83
<b>第 3 章 作業管理</b>	
・「3-1 作業管理の進め方」まとめなおし、文言の修正をした。	97-98
・「3-2 (1) 作業標準はなぜ必要か」作業標準の記述を追記した。	98
・「3-2 (3) 作業標準の周知および教育」、周知徹底について加筆修正。	102
・「3-3 (3) 安全、衛生標識」、JIS 名称の修正。	106
・「3-3 (6) 法令等による周知（掲示）」、文言の修正。	110-111
・「3-3 (7) ウ SDS の掲示等」SDS 指針第 5 条の要旨の不要な箇所を削除。	112-113
・「3-4 労働衛生保護具」図 3-6 防じんマスクの種類を修正。	114
図 3-8 検定合格標章を修正。	115
・「3-4 (2) ア (オ) 金属アーク溶接作業に関して」を新規追加。	116-118
・「3-4 (2) イ 労働衛生保護手袋等」にて (ア) (イ) を新規追加。	119-120
・「3-5 (1) 非正常作業とは」にて書きぶりや第 4 版の図 3-6 (現図 3-10) の修正等。	121-123
・「3-6 緊急時の措置」第 4 版の「第 4 章 健康管理」に記載されていたものを移動して、新型コロナウイルスを踏まえて編集しなおした。	126-131

<b>第4章 健康管理</b>	
・「4-1 特定化学物質による健康障害の症状」新規追加（一部流用）。	133-137
・「4-2 健康診断および事後措置」新規追加（一部流用）。	137-140
<b>第5章 特定化学物質の管理の現状と作業主任者の役割</b>	
・「5-1 特定化学物質の管理の現状と今後の展望」行政の動向を記載。	141-142
<b>第6章 災害事例および関係法令</b>	
・「6-1 災害事例」事例を3件入れ替えた。	
・「6-2 関係法令」最新の情報に修正した。	
<b>資料</b>	
・第4版の「表1、表2」を「表1」にまとめなおした。	179
・表2 GHS（改訂7版）に修正。	181
・表5のSDS例について、JIS Z 7253に準拠したものに変更。 物質もコールターールからベンジルアルコールに変更。	189
	以上